

新型コロナウイルス感染症に係る 国民健康保険・後期高齢者医療制度「傷病手当金」の支給 《適用期間延長のお知らせ》

新型コロナウイルス感染症に感染又は感染が疑われることにより、療養のために会社等を休み、事業主から給与等の全部又は一部を受けられない場合に、被保険者に対して支給する「傷病手当金」の適用期間が、令和3年9月30日まで延長になりました。

支給要件や申請方法等の詳細については、沖縄市公式ホームページ及び各担当までお問い合わせください。



お問い合わせ／国民健康保険課 給付係(内線2114)・後期高齢医療係(内線2101)

新型コロナウイルス感染症に係る 国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料の減免

新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免を令和3年度においても予定しております。詳細が決まり次第、広報おきなわ、沖縄市公式ホームページ等でお知らせいたします。



お問い合わせ／国民健康保険課 保険料係(内線2106・2108)・後期高齢医療係(内線2128)
介護保険課 保険料係(内線3146・3147)

5/24 GIGAスクール端末貸与式

国が推進する教育におけるICTの効果的な活用等に向け、越来小学校で児童一人ひとりにタブレット端末が貸与されました。

代表児童より「友達と対話し、自分の考えを広げ、学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。タブレット端末を使い、人が嫌がることや傷つけることは絶対にしません。大切に活用します」と決意表明がありました。

式終了後には、各教室で端末の設定が始まり、児童たちは楽しそうに作業を進めていました。



5/16 池原貞雄記念賞授賞式

沖縄生物学会が主催する沖縄の生物研究等の各分野で活躍している団体等に贈られる第11回「池原貞雄記念賞」を沖縄こどもの国等が受賞し、沖縄こどもの国で行われた授賞式で、沖縄生物学会の前会長の当山昌直氏より賞状と副賞が手渡されました。

沖縄こどもの国は、1970年の開園以来、長年に渡り、沖縄の自然環境保護に対する取り組みを行ってきた事等が認められ、環境保護部門での受賞となりました。



5/24~28 笑顔の写真でみんなを笑顔に

新型コロナウイルスの影響により、さまざまな行事が中止となる中だからこそ、「あそぶ」ことや「つながる」ことの大切さ、こどもたちの「遊び場」や「居場所」を地域で守っていくことの大切さを伝えること等を目的とした写真展「笑顔うまれた展～総集編～」を市役所で開催しました。

写真は、宮里児童センターに通うこどもたちが、昨年9月からこどもカメラマンとなり撮影したもので、センターで楽し気に遊ぶ笑顔のこどもたちが収められています。



5/25 「いざ」に備える地域づくり

「災害時における防災活動協力に関する覚書」に係る調印式が、市役所で行われ、もりのなかま保育園古謝園の米須美智子園長と株式会社栄華土木(在古謝)の仲本兼三代表取締役は、覚書を交わしました。

本覚書を締結したことにより、地震、津波等の災害により、もりのなかま保育園古謝園の園児達が避難を余儀なくされた際、株式会社栄華土木に避難誘導活動や救護活動の協力を求めることができます。



6/7 自衛官募集相談員へ連名委嘱状を交付

桑江市長と自衛隊沖縄地方協力本部の坂田裕樹本部長との連名による自衛官募集相談員への委嘱状交付式が市役所で行われました。

委嘱されたのは、小渡亨さん(10期目)、仲宗根誠さん(4期目)、池宮城秀徳さん(3期目)、島田茂さん(3期目)、高野吉光さん(2期目)の5人です。

相談員の任期は2年間で、自衛官志願者に関する情報の提供や自衛官募集広報などの活動を行っていきます。



5/17~21 豊かで安全な消費生活を

毎年5月の消費者月間にあわせ『“消費”で築く新しい日常』をテーマに、市役所で「令和3年度 消費者月間パネル展」を開催しました。

消費者が主役となり、安心・安全で豊かに暮らすことができる社会の実現を目的としたもので、悪質商法や多重債務、契約トラブルに関する情報のほか、市で実際にあった相談内容を掲示し、消費者トラブルについての注意喚起を行いました。



5/3~14 地域包括支援センターパネル展

コープ美里店の店内で、沖縄市地域包括支援センター(北部・中部北)主催のパネル展が開催されました。センターの活動内容や認知症をテーマにしたパネル展には、幅広い年齢層の来場者が訪れました。

センターは、高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域住民等と連携し、共に支え合う地域づくりに取り組んでいます。



5/22 地域に欠かせない心の拠り所として

中央パークアベニュー入り口から、同じ通りの中央交差点角に移転したFMコザの移転セレモニーが開催されました。

多くの方がお祝いに駆け付ける中、5月1日付で社長に就任した池城愛美氏は、「FMコザが地域に欠かせない心の拠り所として機能する。そんな場所にしていきたい」と挨拶をしました。

桑江市長は「とても地域を大事にしていることに感謝しています。もっと盛り上げてほしい」と激励しました。

